



二中だより

No.8

国分寺市立第二中学校

令和7年12月19日(金)

教育目標 「健康で たくましく生きる」「みずから学び 創造する」「心豊かに 互いを尊重する」

校 訓 「師弟同行」「夢」

「国分寺二中ニュース」(PC版) <http://news2ckbj.blogspot.jp/?m=0> (携帯版)

<http://news2ckbj.blogspot.jp/?m=1>

校訓「夢」…「夢」が語れる学校へ

校長 榎本 圭志

12月に入り3年生の進路学習の一環で面接練習が始まりました。本番の面接では各高等学校の教育方針や特色などについても細かい質問があるかもしれませんが、自分で志望する学校ですから、この点については各自が考えていること、想うことをしっかりと答えられれば問題は無いと考えています。

面接練習は一人15分ほどの限られた時間で行うため、私が面接練習で質問するのは、都立高校の入学者選抜で使われる「自己PRカード」の内容(1志望理由について2中学校生活の中で得たこと3高校卒業後の進路について)を中心に質問します。どの生徒も緊張しながら練習に臨んでおり、言葉を選びながら懸命に答えているのですが、話題が「**高校卒業後の進路**」になると、自信の無い答えが増えてしまいます。「**まだ、将来やりたいことが決まっていないので…**」、「**自分がやりたいことを大学に進んでから見つけたい…**」などですが、練習の中でいろいろと質問し探っていくと、実は何となく将来の目標は決まっているけれども自信が無いとか、まだ家族・担任・友達など誰にも話したことがなくて言い出しにくい、恥ずかしいなどの理由で、自分の将来を語れないことがわかってきました。



中学3年生の面接練習と一緒に出来ませんが、私の小6の姪は今イルカのトレーナーになりたいと言って本を読んだり調べものをしたりして自分の目標に向かって努力をしています。小1の頃は真剣にプリキュアになりたいと言い、小3では天文学者になりたいと言って、少し難しい本も読んでいました。成長と共に夢は変わってゆくことは当然あることです。また、夢は変わって良いと思います。私も何度か将来の夢は変わりました。成長と共に夢が変わって叱られることもありません。たった一度の自分の人生です!本当にやりたいことがあるのなら、遠慮などせず堂々と夢を語り、そこに向かってほしいと願っています。

夢の実現に向け努力する時間は本当に楽しいものです。ワクワクします。また、困難にぶつかっても、夢の実現に向けて困難を乗り越えるエネルギーも生まれてくるものです。また、夢は一つでは無く、複数の夢を持ってもかまいません。夢は多い方が人生は楽しくなります。手塚治虫やウォルト・ディズニーも同じことを言っています。

そして、幾つになっても夢はもつことができます。私の先輩の校長が、何年も前のことですが「**校長を退職したら、起業する!**」と言っていたことがあります。そして有言実行!その方は数年前に校長を退職され、私に話した通り、自分で新しい仕事を立ち上げ活躍されています。

二中には二つの校訓があり、その一つが「夢」です。玄関を入ったところにも額が飾られています。生徒が自分の夢を語るためには、私たち大人もまだ続く未来に夢をもち、夢を語れる大人でいなければならないと思います。ぜひ、ご家庭でもこの年末年始に、それぞれの夢について話題にして頂ければと思います。

最後になりましたが、今年も本校の教育活動にご支援ありがとうございました。年末年始は健康管理が難しい時期です。お身体には十分にご注意ください。